

東社連 東村山市内 社会福祉法人連絡会通信

編集・発行
 東村山市内社会福祉法人連絡会
 事務局(東村山市社会福祉協議会内)
 TEL394-6333・FAX393-0411
 ☒soumu@hm-shakyo.or.jp

都
内
初



7・16 東村山市内社会福祉法人連絡会が発足しました

25法人36名の参加を得て全体会が開催され、次に渡部東村山市長、東京都社会福祉協議会副会長小濱氏をお招きしての記念式典を行い、最後に東洋大学教授の小林良二先生より、記念講演がなされました。①会員法人のネットワークづくりと情報交換、②各法人が実施している公益活動の調査と福祉ニーズの把握、③連携事業の試行的実施を今年度の重点とし、活動を進めていきます。



全体会の様子



渡部市長挨拶



東社協 小濱副会長挨拶



村山苑 品川理事長が連絡会代表幹事に選任

創刊号の主な内容

- ◇市内社福法人連絡会発足の報告・・・1
- ◇役員あいさつ・・・・・・・・・・・・・・2
- ◇法人連絡会発足までのあゆみ・・・3
- ◇加入法人紹介
「社会福祉法人いずみ」
- ◇今後の予定など・・・・・・・・・・・・・・4



記念講演『社会福祉法人の
地域での役割』
講師 小林良二氏(東洋大学教授)

皆さん よろしくお願ひします

市内社会福祉法人連絡会のまとめ役 幹事・監査役をご紹介します

代表幹事 社会福祉法人 村山苑 品川 卓正

此度、「東村山市内社会福祉法人連絡会」が設立され、第一回全体会において代表幹事に選任されました。力不足で会員の皆様方にはご迷惑をお掛けすることが多々あるかと思いますが、東村山市社協事務局及び行政の助言を得ながら、地域のお役に立てればと考えています。よろしくお願ひ致します。



副代表幹事 社会福祉法人 緑風会 酒井 雅司

現在、社会福祉法人はその在り方自体が検討され社会福祉法が改正されようとしています。社会福祉法人は決められたことしかせずに社会貢献をしていないという指摘があるからです。皆様は地域社会のために法に則って福祉事業を地道に行ってきたのという思いがあるでしょう。しかしこれからは地域の社会福祉法人が互いに連携して地域のために貢献できるように頑張っていきましょう。



副代表幹事 社会福祉法人 白十字会 西岡 修

東村山市社会福祉法人連絡会の副代表幹事に選任いただきました西岡修です。現在、諏訪町にある白十字ホームホーム長をさせていただいています。

この度、市内全ての社会福祉法人が参加する連絡会が発足しました。連絡会は動き出したばかりです。連絡会の活動に微力ですがお役に立てれば幸いです。どうぞ皆様のご指導お力添えをよろしくお願ひを申し上げます。



監査役 社会福祉法人 緑風会 杉木 康浩

このたびは東村山市内社会福祉法人連絡会の立ち上げに際し監査役をお引き受けすることとなりました。社会福祉法人制度改革ということですが、従来も緑風会は緑風荘病院の福祉医療を中心として地域社会のために福祉事業及び公益事業を行ってまいりましたので、今後は地域の社会福祉法人と連携して地域の人々のためにお役に立てればと考えております。



監査役 社会福祉法人 東京コロニー 星 忍

この度、連絡会監査役を担当させていただくことになりました。東社協の社会貢献事業モデル地域のひとつとして東村山市が指定されたことは、社会福祉法人が多く存在する地域として期待をされていることだと思います。東村山市ならではのネットワークを生かした取組みを目指して協議が始まっております。市民に愛される連絡会をめざし、微力ではありますが頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



あゆみ

東村山市内社会福祉法人連絡会発足まで



社会福祉法人をめぐるのは、2000年に介護保険制度から始まった社会福祉制度見直しの動き、規制緩和や「イコールフットィング」を求める動きの中で、憲法25条の生存権保障とりわけ第2項の公的責任と社会福祉法人のあり方が問われる状況などがあります。昨年には社会福祉法人への課税問題も加わり、改めてあり方、役割について地域社会の理解を高める取り組みが急務となっています。

連絡会要綱第1条の目的では、「～相互に情報交換を行い、地域のニーズや課題を受け止め、社会福祉法人等の連携・協働により社会貢献事業等に取り組むことで、東村山市民の福祉向上を図ることを目的とする」（一部省略）としています。

社会貢献事業に関しては、元々社会福祉法人の本務であり、これまでも法人個別に多様な事業が行われてきたところです。連絡会では、これを地域の中で連携・協働して取り組んでいくことを目的としています。

連絡会の発足に向けて2月17日に、23法人36名、東京都社会福祉協議会、東村山市地域福祉推進課がオブザーバーで参加して準備会が開催されました。

当日は東京都社会福祉協議会原幹生福祉部長が『社会福祉法人の社会貢献活動の意義』と題して講演、その後、意見交換が行われました。連絡会設立について全参加法人から賛意を得て、設立準備会世話人会（以下、世話人会）が準備をすすめることになりました。

準備会后、各法人にアンケートをお願いし、24法人から回答をいただきました。

「社会貢献事業」について、それぞれの法人の考え方、実際の活動等についてのご意見、地域の中で社会福祉法人が果たす役割やスピード感のある取り組みの必要性、連絡会で一堂に会する機会は情報交換の場としての意義が大きいなどのご意見がありました。

世話人会では、7月16日の設立総会開催に向けて、要綱案、事業計画案、予算案の作成、当日のスケジュール、講演依頼等の準備をすすめました。

7月16日(木)午後、東村山市社会福祉協議会で設立総会と記念式典が開催されました。当日までの加入申込み法人は26法人（その後27法人）、出席法人は25法人36名でした。

設立総会では、要綱、活動計画、予算が承認され、3人の代表及び副代表幹事、2名の監事が選出されました。事務局は、東村山市社会福祉協議会が担うことになりました。

記念式典では、渡辺尚市長、東京都社会福祉協議会小濱哲二副会長から祝辞をいただき、その後記念講演に移り、小林良二東洋大学教授から『社会福祉法人の地域での役割』と題して講演をいただきました。

今後、連絡会の設立目的の実現に向けて、各法人が実施している『地域公益活動』等についてアンケート調査の実施、広報紙の発行、研修会の開催等を予定しています。

文責 副代表幹事：西岡

